

平成三十一年度 大学院人文科学府博士後期課程第2期編入学試験問題

( 日本史学 )

次の一、二の設問について、解答せよ。但し、解答はすべて縦書きとすること。

- 一 近現代日本の内閣制度について、内閣における総理大臣の役割、および内閣と他の機関 勢力との関係の変化などにも注目し、その変遷を論ぜよ。

著作権上の理由により、  
WEB公開版では、問題文から  
削除した。

(一) 一行目「内田外相」から八行目「置キタリ」までについて、人名などを補いつつ、内容を説明せよ。

(二) ワシントン会議およびワシントン体制について、研究史を踏まえて、説明せよ。

(三) 例ノ三角同盟ノ産物」について、史料の内容を踏まえて、説明せよ。

(四) この史料は、何年何月の日記の一部だと推定できるか。時期をできるだけ限定した上で、その根拠をあわせて説明せよ。

三次の中料を読み、簡(二) (四) に答えよ。なお、史料は、(その1) (その5) まで、全部で五枚ある。

著作権上の理由により，WEB公開版  
では，問題文から削除した。

(その1)

著作権上の理由により，WEB公開版では，問題文から削除した。

(その2)

著作権上の理由により，WEB公開版では，問題文から削除した。

(その3)

著作権上の理由により，WEB公開版では，問題文から削除した。

著作権上の理由により，WEB公開版では，問題文から削除した。

(その5)

- (一) この史料の内容について、人名などを補いつつ、説明せよ。
- (二) この史料の発信者および受信者について、姓名をそれぞれ記せ。
- (三) この史料は明治三一年に書かれたものだとは推測できる。この史料の内容に関連する、同時期の日本の政治状況について、説明せよ。
- (四) この史料を用いて研究を行うとした場合、どのような、①研究題目、②関連する史料、③関係する先行研究、④研究の意義が考えられるか。自由に論ぜよ。